

(様式)

令和6年3月1日

狭山市教育委員会
教育長 滝嶋 正司 様

狭山市立御狩場学校
校長 安達 隆元

令和5年度 狭山市立御狩場小学校 学校関係者評価表

※ 学校が行った自己評価の結果及びそれを踏まえた今後の改善方針について評価する。

※ 【評価の目安】

- A : よくできている。 (90%以上)
- B : 概ねできている。 (85%以上)
- C : あまりできていない。 (70%以上)
- D : できていない。 (70%未満)

領域	番号	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員から 評価(文章表記)
			評価	説明	
学校運営全般	1	学校の重点目標が明確である。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員同士が助け合い、一人任せにしない風土ができています。 ・清掃活動においては、本年度から清掃ボランティアを募り、地域にもご協力をいただいた。 ・施設劣化に伴うトイレや水漏れ等、気づいた段階で早期の対応を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目指す児童像が分かりやすく、前向きさが表れた学校の姿勢が伝わる一年であった。 ・高学年児童がリーダーを担う伝統をしっかりと引き継ごうとしている態度が見られ、教職員と子供たちの両方の努力が生きていた学校になっていると考える。 ・四季折々の美しさを感じる豊かな心を子供たちに育ませたい。そのため、運動場の木々を伐採は、極力避けていただきたい。
	2	児童は、学校生活が楽しいと感じている。	B		
	3	教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる。	A		
	4	清掃が行き届き、学校がきれいである。	B		
	5	学校の施設・設備は安全に管理されている。	A		
学習	6	教師は、児童が興味関心のもてる授業、わかりやすい授業を実施している。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の読み取りに課題が見られる。また、学習に対する意欲に課題があったり、忘れ物が多かったりする児童が固定化されつつある。 ・児童の学習への関心を高める導入の工夫を図るとともに、子供同士をがっつながら主体的な学びを推進し、学校だからこその学びを積極的に実施していきたい。 ・家庭学習に一生懸命取り組んでいる児童もあり、そうした児童の学習ノートをお手本としてホームページに公開し、自主的な学習の啓発をしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の定着は課題である。 ・学習内容の定着ができていない児童が見受けられ、学童保育でも職員が宿題を見届けている現状がある。 ・全国学力テスト等の分析や教職員も問題を解く機会を作ることもよい。 ・子供たちが学んだことを、アウトプットする機会を意図的に設定していく必要がある。 ・家庭学習への関心の低さは、時代の流れもあるのか、子供たちの話題はYouTubeが多い。保護者の協力も必要な状況にある。 ・理科等の学習に必要なのであれば、可能な範囲で蝶のサナギ等の要望に応えていきたい。
	7	児童は、落ち着いて学習に取り組んでいる。	A		
	8	児童は、基礎的基本的な学力を身に付けている。	B		
	9	児童は、家庭学習の習慣を身に付けている。	B		
規律ある態度	10	児童は、進んであいさつをしている。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちは、概ね約束事を守り、落ち着いた生活態度である。 ・挨拶等は教職員にはしっかりとできるが、教職員以外の人には、できない児童も少なくない。 ・本校の強みである縦割り活動が功を奏し、高学年がお手本となっているため、低学年への良い伝統を引き継いでいる。 ・教職員がやさしい言葉と前向きな言葉を選び、子供たちに接するよう心がけていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね落ち着いて児童が生活している。 ・下校の様子を見ていると、多くの児童が挨拶ができています。上級生が下級生にまっすぐ歩くように注意する姿も見られ、ほほえましい光景を目にする。 ・「知らない人には声をかけない」という家庭の考えもあるようで、挨拶をしない子が固定化している。 ・今後も活動を継続し、顔と顔がにつながることで、挨拶しやすい環境づくりに心がけたい。
	11	児童は、場に応じた言葉遣いができている。	B		
	12	児童は、時間やきまりを守って生活している。	A		
	13	児童は、仲よく安心して生活している。	B		
	14	教師は、自ら手本となり、規範意識を高めている。	B		
健康・体力	15	学校は、児童の体力を高めている。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・自主的な朝マラソンだけでなく、業間休みにもマラソン・長縄、ドッジボール等様々な企画を催し、運動好きの児童が多い状況が作られている。しかし、校庭に出たがらない児童が固定化されつつある。 ・健診後に受診できず、虫歯治療が終わらない児童も数名いる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・寒い日もよく運動場で遊んでいる子供たちを多く見かける。 ・子供たちの放課後の遊ぶ場所も少なくなってきている中、放課後も運動場で多くの子供たちが遊んでいる姿を見ると大変微笑ましく感じる。
	16	児童は、体育や外遊びに意欲的に取り組んでいる。	A		
	17	児童は、健康を意識した生活をしている。	B		
地域との連携	18	学校は、教育活動に関する様々な情報を積極的に提供している。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・スクリレ等を活用し、積極的に学校の様子が伝わるように努めてきた。また、学校応援団と連携を図り、支援の幅を広げている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スクリレによる「みかりば日記」の配信は、学校の様子がよく分かる。引き続き、配信をお願いしたい。
	19	学校は、保護者や地域と連携・協力し、教育活動を行っている。	A		